

知床五湖地区における取組の進捗状況について

トピック

1. 利用調整期間（4/20～10/20）までの地上歩道立入認定者数は65,021人（前年比95%）となった。春の植生保護期（4/20～5/9）の立入認定者数は8,664人、ヒグマ活動期（5/10～7/31）は16,086人と、ともに過去最高を記録した。一方、夏の植生保護期（8/1～10/20）は40,277人と前年比84%となった。
2. ヒグマ遭遇件数は通期で過去最高の219件となった。植生保護期における終日供用日数は101日間のうち60日と過去2番目に低い値となった。また、10月17日には利用者がヒグマに追跡される事案が発生したため、9日間閉鎖を継続した。
3. 地上遊歩道の再整備工事が開始。10月1日以降は小ループのみの供用となった。

1. 知床五湖利用調整地区制度の運用

- ・運用期間：2019年4月20日～10月20日
- ・植生保護期（春期：4/20～5/9）立入認定者数：8,664人（前年比178%）※過去最高
- ・ヒグマ活動期立入認定者数：16,080人（前年比106%）※過去最高
- ・植生保護期（夏期：8/1～10/20）立入認定者数：40,277人（前年比84%）
- ・上記合計の地上遊歩道立入者数：65,021人（前年比95%）

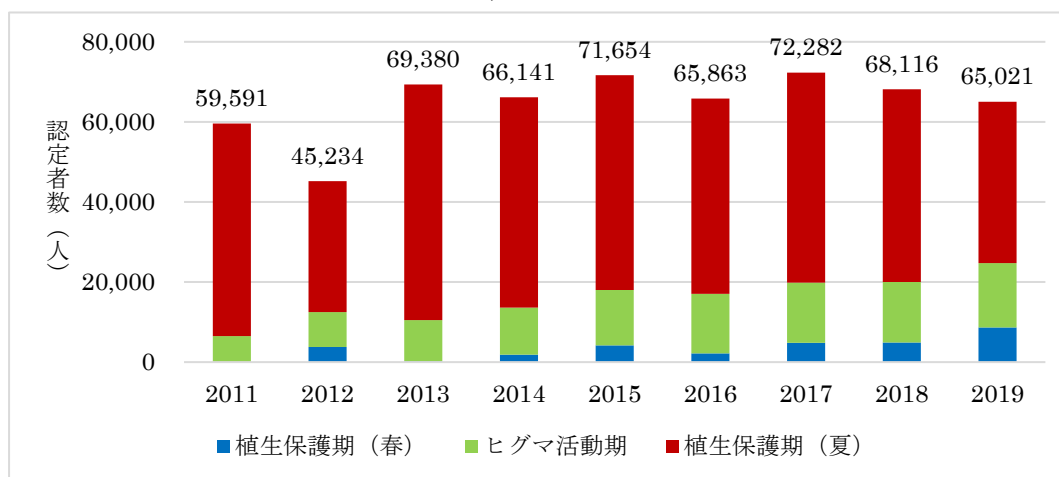


表1. 制度運用期間立入認定者数

・ヒグマ遭遇：

ヒグマ活動期 186回（前年119回、うちツアー中止25回（前年25回））

植生保護期（春期）11回（前年2回）、植生保護期（夏期）22回（前年13回）

8月以降の供用状況については、ヒグマの出没や遊歩道付近に滞留している痕跡等が

たびたび確認されたことから、8 月 13 日まで断続的に閉鎖となった。また、10 月 17 日には利用者がヒグマにより追跡される事案が発生したため安全を確認するための調査を実施し自由利用期の 10 月 25 日まで閉鎖を続けた。これらの状況により、植生保護期の終日供用日数は 101 日間のうち 60 日間であり、過去 2 番目に少ない値だった。

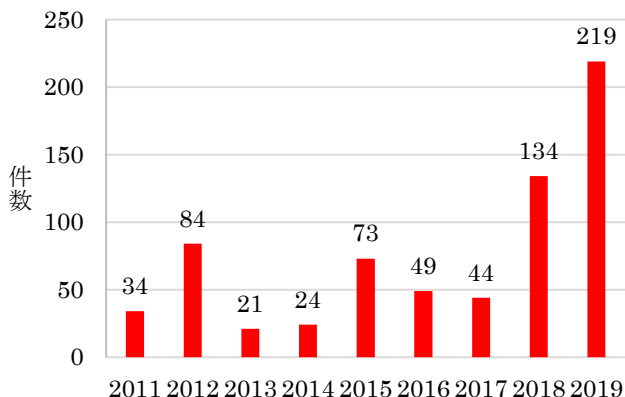


表 2. 地上遊歩道でのヒグマ遭遇件数（通期）

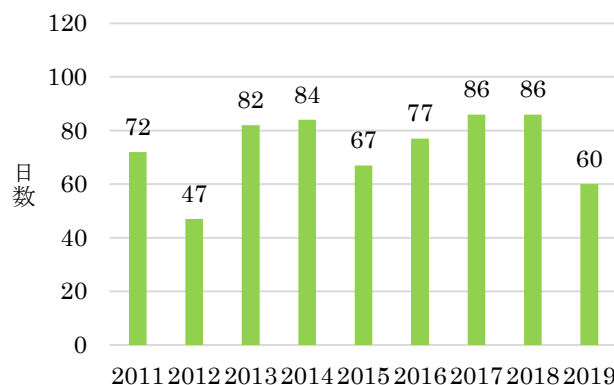


表 3. 地上遊歩道の終日供用日数
(植生保護期・101 日間うち)

- ・ 4～10 月の知床五湖駐車場利用車両台数：乗用車 58,242 台（前年比 119%）、バイク 3,802 台（前年比 128%）、マイクロバス 162 台（前年比 93%）、大型バス 2,841 台（前年比 107%）

※上記の値は現時点での速報値であり、今後修正される可能性がある。

2. 知床五湖利用期区分の再検討について

地上遊歩道のより安全でわかりやすい利用、かつ、安定的な開放を実現するため、春期植生保護期および秋期自由利用期の運用改定を検討した結果、来年度より秋期自由利用期（10 月 21 日～閉園）を植生保護期とすることとなった。利用期の変更に関して、11 月 20 日から 12 月 19 日までパブリックコメントを行った。今年度中に利用適正化計画の改定を行う予定。

3. 知床五湖の利用のあり方協議会、登録引率者審査部会の開催状況

- 第 32 回知床五湖登録引率者審査部会：2020 年 1 月 16 日
- 第 42 回知床五湖の利用のあり方協議会：2020 年 2 月（予定）

4. 知床五湖登録引率者に係る事項

- ・ 2020 年度引率者数：34 名（内新規 2 名）の予定（前年度 32 名）
- ・ 2020 年度新規養成者募集期間：2020 年 1 月 27 日～3 月 6 日